

「地域を支える建設業」検討会議

第47回全体会議

(一社)長野県建設業協会 提出資料

- 要望事項 資料No.1
 - 1 公共事業予算の持続的・安定的な確保について
 - 2 工事の円滑な施工の確保について
 - 3 入札、契約関係について
 - (1) 総合評価落札方式における高齢技術者の加点について
 - (2) 優良技術者表彰制度について
 - 4 工事発注について
 - (1) 小規模維持補修工事における休日作業の労務単価について
 - (2) 建設発生土の処理について
 - 5 コンクリート品質管理基準について
 - 6 長野県建設工事等入札参加停止措置に係る苦情申し立て手続きについて
- 経営状況アンケート結果について 資料No.2
- 青年部会・女性部会報告について 資料No.3

「地域を支える建設業」検討会議 第47回 全体会議

○ 要望事項

1 公共事業予算の持続的・安定的な確保について

地域建設業が社会資本整備や維持管理の担い手とともに、自然災害に対して安全・安心の守り手としての役割を果たしていくためには、持続的・安定的な経営環境が求められ、また、頻発する大規模災害から国民の生命と財産を守り、国土強靱化を推進するための防災・減災対策など、災害に強い国土づくりに取り組むことが喫緊の課題となっています。

コロナ禍で落ち込んだ経済の早期回復と、災害に強い社会経済を実現し県民が安全に安心して暮らせるように、そして、地域建設業が働き方改革、生産性向上を進め、将来に亘り建設業の使命を果たしていくためには、安定的・持続的な事業量の確保が必要不可欠です。

このため、公共事業予算について下記の要望をいたします。

- ① 令和5年度（2023年度）の公共事業予算についても持続的・安定的な確保をお願いします。また、適切な工期の確保という観点から、予算につきましては出来る限り当初予算で計画的に措置頂きますようお願いいたします。（継続）
- ② 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の着実な実施と、5か年加速化対策終了後も引き続き、大規模災害に備えた中長期計画を策定し、予算を計画的かつ安定的に確保するようお願いいたします。（継続）

2 工事の円滑な施工の確保について（継続）

（南佐久、佐久、諏訪、木曾、松筑、安曇野、大北、須坂）

- ① 予算の執行、発注に当たりましては、早期契約制度、フレックス工期契約制度や債務負担行為の活用等により、無理のない工期で、年間を通じて工事量が確保できるよう更なる平準化をお願いします。
- ② 工事内容や工事特性を考慮して発注時期を検討願います。特に、大型工事については年度の上半期に発注をお願いします。

3 入札、契約関係について

(1) 総合評価落札方式における高齢技術者の加点について（新規）

担い手不足の中で雇用年齢が上がっております。現在、若手技術者（40歳未満）の加点項目がありますが、継続雇用を促すためにも高齢技術者（60歳以上）の配置に対する加点制度の検討をお願いします。（南佐久、佐久、大北、須坂）

(2) 優良技術者表彰制度について（継続）

令和3年度から制度が変更になりましたが、多くの支部から現行制度について意見が出されています。主な要望としまして、実績対象を県と国土交通省以外の省庁関係工事も対象にさせていただきたい、事務所単位で多くの技術者が選定されるようにさせていただきたい、工事特性や難易度などをもっと評価させていただきたい、等があります。第43回全体会議に於いて協会から、表彰制度の見直しに当たっての課題を挙げさせていただいておりますが、引き続きこの制度についてのご検討をお願いします。（諏訪、飯田、木曾、大北）

4 工事発注について

(1) 小規模維持補修工事における休日作業の労務単価について（新規）

現在、小規模維持補修工事の休日単価につきましては、積算基準上は法定休日の日曜日のみで土曜日や年末年始は平日扱いとなっているとのことです。

働き方改革の推進の中で週休2日を実現している企業も増えております。

週休2日を実現している会社は、小規模維持補修工事についても休日、夜間作業に対しては適正な割増賃金を支払わなくてはなりません。令和6年4月から労働基準法の罰則付き時間外労働規制が建設業にも適用されますので、休日単価での支払い確認も厳格になると思われれます。

休日及び時間外労働の実態に応じた労務単価となるようご検討をお願いします。

（上小、諏訪）

(2) 建設発生土の処理について（継続）

前回の全体会議でも要望させていただきましたが、市町村も含めて建設発生土の搬出先の確保や適正な処分費の変更計上など、残土処理について多くの支部から要望が出されております。建設業協会といたしましても「建設発生土受入地地域連絡会」に要請があれば参画いたしますが、基本的には残土処分地につきましては、発注機関で発注前に確保していただきますようお願いいたします。

また、今年5月27日に盛土規制法が公布され、1年以内に施行されることになっております。規制区域の指定は県に於いて行われますが、国に於いて災害防止のために必要な技術的基準等を定めることになっております。内容は、排水施設の設置、擁壁の設置、浸食防止施設などで、相当の費用、工期が必要になるものと思われれます。建設工事により発生した土石を工事現場内において仮置きする場合や自社敷地又は発注者の指定する土地に仮置きする場合には適用除外としていただきますようお願いいたします。（南佐久・佐久・上小・飯田・松筑）

5 コンクリート品質管理基準について（新規）

コンクリート品質管理基準について多くの支部から要望があります。コンクリートの圧縮強度試験や塩分量の測定頻度について検討していただきたいというものです。特に、圧縮強度試験について、護岸工ブロック積の胴込めコンクリート、コンクリートブロック張りや根固めブロックなどは小規模工事の適用をしても良いのではないかとというものです。品質管理基準では「1回/日以上」とされていても工種によっては非常に多くの回数となる場合がありますので、品質管理基準「護岸」適用工種区分についてご検討願います。（南佐久、佐久、諏訪、須坂、中高）

6 長野県建設工事等入札参加停止措置に係る苦情申し立て手続きについて（新規）

「長野県建設工事等入札参加資格者に係る入札参加停止措置要領」によりますと、入札参加停止となった場合、県工事の入札のみならず県工事の下請けも禁止され、さらに市町村工事まで入札参加できない等、大きな影響が生じることとなります。入札参加停止となる要因としては、粗雑工事、安全管理措置不適切による事故、贈賄、独禁法違反、談合等の他、業務に関し「不正又は不誠実な行為」があります。

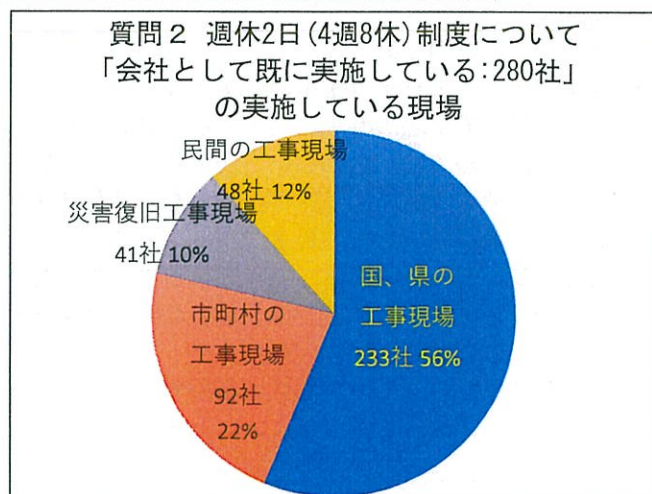
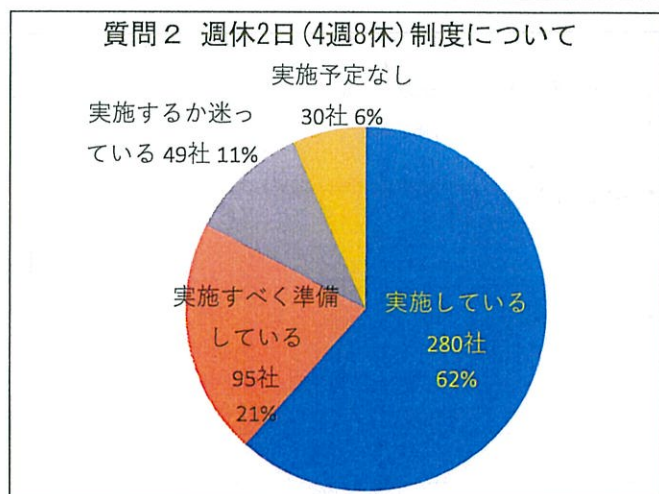
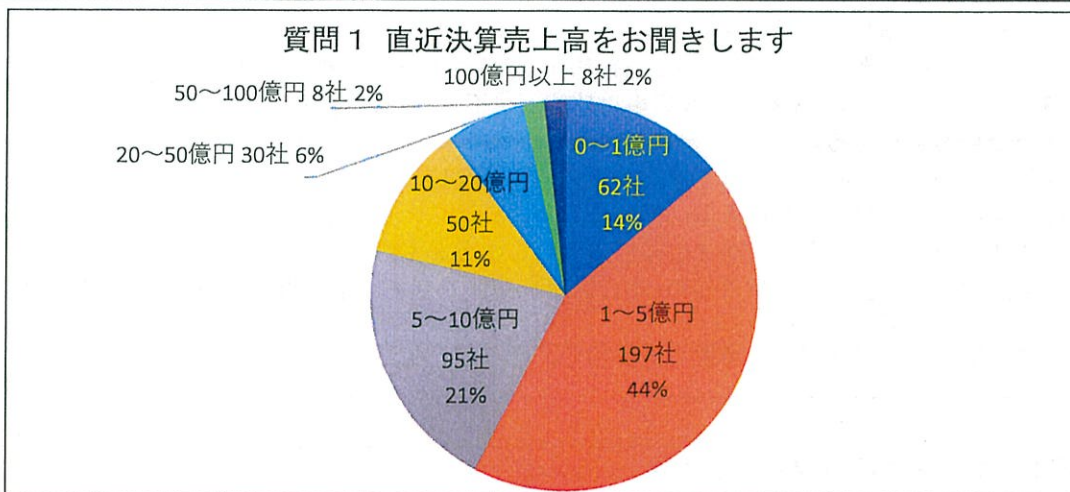
多くの入札参加停止措置は、この要領により適切に運用されていると思いますが、この要領の解釈、運用について、入札参加停止を受ける側としては、苦情の申し立てを行う機会もないまま、受け入れざるを得ない状況となっております。

事例によっては、状況をよく聞いていただきたいとの事業者側の思いもあります。中央公共工事契約制度運用連絡協議会においても、平成18年2月14日付で「指名停止等措置に係る苦情処理手続の「公契連モデル」が採択されており、国土交通省、近県でも指名停止等（入札参加停止）に係る苦情処理手続きがありますので、長野県建設工事においても入札参加停止措置への苦情申し立てが行える制度を定めていただきますようお願いいたします。

令和4年11月

(一社) 長野県建設業協会

支部名	南佐久	佐久	上小	諏訪	伊那	飯田	木曾	松筑	安曇野	大北	更埴	須坂	中高	長野	飯山	合計
回答数	25	35	21	40	53	48	18	59	23	34	9	14	14	42	16	451
会員数	25	35	21	44	53	51	18	59	24	34	12	14	15	79	17	501
回答率	100%	100%	100%	91%	100%	94%	100%	100%	96%	100%	75%	100%	93%	53%	94%	90%



○週休2日(4週8休)にできない場合、その理由

- ・ 要求される工期が週休2日では間に合わない。(7)
- ・ 施主の希望により休日施工の場合は代休を取得する形で進めている。(4)
- ・ 施主様の要望や都合による。(4)
- ・ 工場等の現場では、休日に施工してもらいたいといった要望があるため。(3)
- ・ 土曜日に工事を依頼されることが多い。(2)
- ・ 民間工事が休日に作業工程を組まれているため。(2)
- ・ 市が週休2日を認めていない、民間は週休2日にするような工期がもらえない。(2) (佐久支部)
- ・ 市の体制が整っていない。(諏訪支部)
- ・ 災害復旧工事現場については、該当する工事がいないため。(基本は実施する予定)
- ・ 災害復旧工事においては発注者がある実施に難色を示している。
- ・ 外注業者が日給制が多く、休むと収入が減るので働かせるため。
- ・ 元請が現場作業を行うため休めない。
- ・ 会社としては実施しているが職人の段取りができなくなるため。
- ・ 人手不足により現場に遅れが出るため県の工事現場のみ実施。
- ・ 一部工事で実施しているが、受注工事が多く完全に実施できていない。
- ・ 経費を見てもらえれば行う。
- ・ 外工事での雨、雪の日は仕事ができない。
- ・ 世の中の体制が整っていないから。

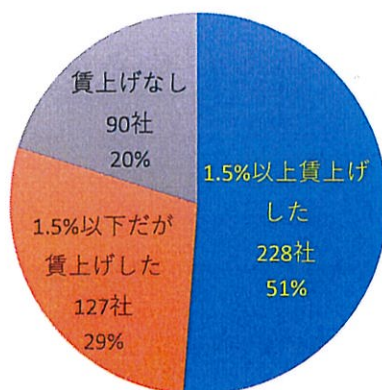
○週休2日(4週8休)を実施するかどうか迷っている理由

- ・悪天候と工期を考慮すると完全週休2日には踏み切れません。(5)
- ・日給で働いている方の収入が下がるから。(5)
- ・採石業者、生コンプラント等が休業4週8休になれば実施する。(4)
- ・民間工事(特に建築工事)が今のところ実施が難しい。(3)
- ・人手不足が重なると工期に間に合わない。(2)
- ・工期の問題。(3)
- ・実質賃金アップとなるため経営環境の悪化が心配。(2)
- ・休日施工希望のお客様がまだ多い。(2)
- ・年間休日カレンダーで実施しているから。(2)
- ・100%4週8休を行うための従業員や下請け会社、お客様の理解がまだできていないため。
- ・市も週休2日指定工事になれば考えるが公共工事以外は人員不足でできない。
- ・土日に工事する現場も多くある。
- ・元請会社が実施していないため。土木はできるが建築はできない。
- ・下請けが休みではない。休日出勤が増えるのではないか。
- ・当社の現場を止めた時、外注業者がほかの会社に流れてしまうかもしれないので。
- ・現在、4週6休で法律で定められた休日日数の105日以上を確保できているため、夏季休業等を削減してまで4週8休を実施すべきか迷っている。
- ・県の竣工書類の内容では矛盾点が多く実施できかねる。

○週休2日(4週8休)を実施する予定がない理由

- ・工期に間に合わない。(6)
- ・日給の従業員のため。(2)
- ・建築のため、土日祝日指定の作業が多く、工事が終わるまで代休を取れる状況にない。
- ・顧客の対応で土曜工事等に対応すると週休2日はできない。
- ・そんなに休んではいられない。民間工事は土日祝日が多いため。
- ・元請の工期の問題により休日出勤となり代休等の取得も困難となるため。
- ・下請け工事が多いため。賃金が減ってしまう。
- ・当社カレンダー(4週6休)で年間休日型を取っている。
- ・雨が降ったりすると仕事が進まないので有休をとってもらっている。
- ・週休2日にする利点がわからない。
- ・人手が確保できる余裕があれば実施する。

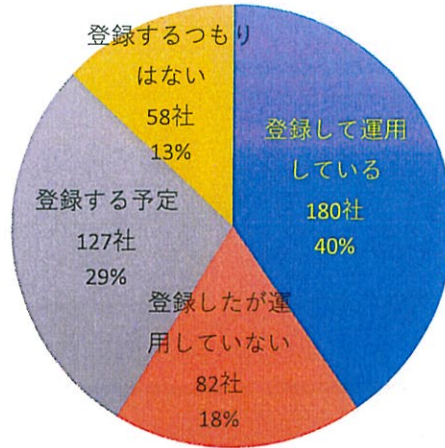
質問3 賃上げについて



○賃上げしなかった理由

- ・売り上げが減少したため。(12)
- ・経営状況が良くなかったため。(8)
- ・利益が上がらなかった。(7)
- ・賞与等でその分支給した。(7)
- ・今後の見通しが分からないため。(6)
- ・資材の高騰により薄利だったため。(4)
- ・昨年賃上げした。(4)
- ・今の状況だと無理。(3)
- ・コロナ禍のため先行き不透明(2)
- ・仕事の受注が見込めない事。(3)
- ・一部職員賃上げ有り。(2)
- ・6月より月給制にした。
- ・社員のスキルレベルを見て次年度以降に。計画している。
- ・する必要がない。ない袖は振れない。
- ・理由はない。
- ・従業員なし。

質問4 建設キャリアアップシステム(CGUS)について



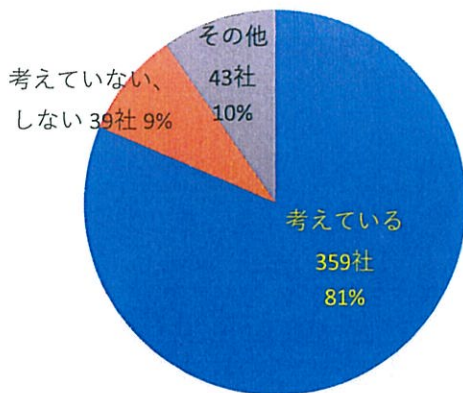
○登録したが運用していない(82社)理由

- ・運用する現場がないため。(12)
- ・技能者登録が進んでいないため。(8)
- ・手続き中のため。(8)
- ・あまり必要性を感じない。(6)
- ・一部国、県の工事のみ運用。(4)
- ・今後運用を考えます。(6)
- ・カードリーダーを用意していない。(3)
- ・手間がかかりそうだから。(2)
- ・社員への周知が遅れているため。
- ・中小企業には向いていないのでは？

○登録するつもりはない(58社)理由

- ・必要性を感じない。(9)
- ・よく分からないため。(5)
- ・会社が小規模なので必要ないと思われる。(4)
- ・対象となる物件に参加実績がない。(3)
- ・技能者がいない。(3)
- ・周りの様子を見て検討。(3)
- ・協力業者からの要望がないため。
- ・経費の関係上できない。
- ・現場にタイムカード設置等システム運用に至りません。
- ・従業員が高齢化しておりニーズがない。
- ・労働者の不足を加速化してしまう。

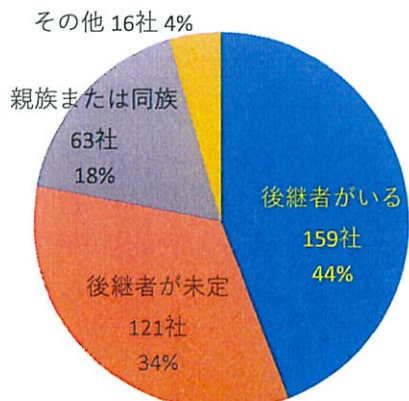
質問5 事業承継について



○事業承継を考えている「その他:43社」理由

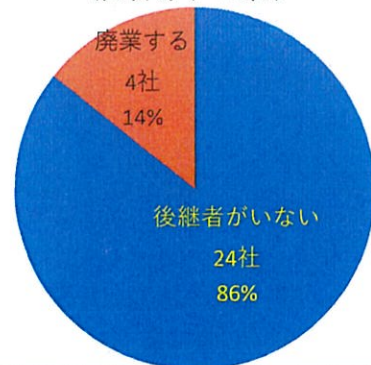
- ・M&Aを検討。(2)
- ・親会社が株100%のため未定。
- ・後継者の考え次第。
- ・既に対応済み。
- ・税制優が不十分であり実行できない。
- ・まだそのタイミングではない。
- ・未定

質問5 事業承継について「考えている：359社」具体的にお答えください。



質問5 事業承継について「考えていない、しない:38社」具体的にお答えください。

(回答あり:28社)



令和4年度青年部会活動報告

実施日	実施内容
<p>7月22日(金) 千曲市埴生中学 「職場体験講習」 2時間授業</p>	    <p>昨年に続き2回目の講習 2学年生徒86名・協会本部8名・長野県建設部5名 建設業の正しい役割を理解いただく</p>
<p>8月23日(火) 千曲市屋代中学 「防災体験学習」 午前中2時間授業</p>	        <p>2学年生徒144名・協会本部(役員、青年部会全員、女性部会3名)17名・長野県建設部8名 DVD・LIFE等を通じ男性・女性の技術者、技能者の活躍を通じて地域の命を守る役割を伝える。 無人化機械施工・防災に役立つブース体験(土石流、除雪機械・ドローン体験・液状化体験等)</p>

8月23日(火)

(一財)建設業経済
研究所との意見交換
会・協会本部で佐々
木理事長・児玉研究
理事との意見交換



青年部会正副部会長4名・協会役員4名と働き方改革(時間外労働問題)・新たに閣議決定された1,2級土木施工管理士の受験資格改善・人材育成・技術者、技能者の処遇改善課題・今後の建設業経営に係わる課題等を忌憚ない意見交換を行う。青年部会は各委員に水平展開実施

10月4日(火)

両小野中学

「職場体験講習」
2学年12名参加
来年度からは全校
生徒全員で実施



建設業の仕事が地域の防災のどのようにかかわっているのかを本日の
体験で理解頂く,協会支部(松筑支部・安曇野支部・伊那支部青年部会5名)
担当協会本部役員3名(副会長2名・特任理事)・長野県建設部8名参加

青年部会今後の活動内容

第1委員会

1. 「2050年ゼロカーボン」推進取組

・昨年は各支部青年部会中心に試行アンケート144件を実施した経験から
完工高別アンケートを全会員企業501から取組状況を依頼し統計的推移向上を図る
各支部全会員への周知令和4年11月15日(火)・提出12月16日(金)

2. 「しあわせ信州創造プラン」建設業が担うべき役割への提言アンケート

・長野県新5か年計画知事方針に向き合い長野県下15支部青年部会が中心となり
地域特性を生かした建設業が関わり合い推進できる提言を取りまとめる
基本プラン作成を12月初旬開始、取り纏めを令和5年2月末、協会本部へ3月6日
必着、青年部会で内容検証・規格統一検討後支部で校正し令和5年4月14日

第2委員会

1. 創立100周年記念事業に結び付けたフォトコンテストを実施・令和5年7月上旬記念式典で発表
・チラシ・ポスター内容応募要領は別紙添付
2. 長野県建設部との意見交換会・実施日令和5年3月22日（月）に向け意見交換内容の検討及び取り纏め

第3委員会

1. 中学生「職場体験講習」長野県下各支部への拡大推進

実施内容・安曇野市への推進

- ・安曇野市への推進依頼説明令和4年10月25日

安曇野市出席

太田市長・橋渡教育長・今吉都市建設部長

協会出席

降幡安曇野支部長・青年部村山幹事・大月特任理事

酒井安曇野支部事務局長



- ・令和4年11月15日安曇野市小中学校校長会での説明

安曇野市教育委員会主催諸中学校校長会での説明

小学校校長7名

中学校校長10名

協会出席

青年部会村山幹事・大月特任理事

酒井安曇野支部事務局長



- ・同日安曇野建設事務所への説明及び協力依頼

安曇野建設事務所出席者

唐澤所長・矢口企画幹兼整備課長

北原整備課課長補佐兼調査計画係長



- ・360度カメラを使用しての新しい技術、無人化施工の取材

中学生「職場体験講習会」説明用資料としての提供資料作り

主催：(一社)長野県建設業協会
後援：長野県

地域の安心・安全を担い
100周年
いまでも・これからも
長野県建設業協会
創立100周年・法人化70周年

グランプリには5万円分QUOカード

@長野県建設業協会青年部会

Instagram フォトコンテスト

フォトジェニック
建設
フォトコン

応募期間

2022.11月20日(日) - 2023.4月28日(金)

@choken_young

長野県建設業協会では、道路や橋、ダム、建築物など建設のしごとによってつくられた構造物や、工事中の姿などの写真を募集します。その名も「フォトジェニック建設フォトコン」です！いつもの生活でふと見た道路や橋のなにげない格好良さ、スケール感、建築物の美しいなどを収めた写真をお待ちしております。今回は四季を通して長く建設の仕事に親んでもらうため、募集期間を長くしました。さまざまな季節の写真を多く応募してもらえれば嬉しいです！もちろん、フォトコンテストに応募する方だけでなく、応募しない方も、ぜひ今回のフォトコンテストのハッシュタグ(#建設フォトコン構造物/自由)を見て、建設のしごとによってつくられる構造物の格好良さやスケール感などをお楽しみください！

【応募期間】

2022年11月20日(日)～2023年4月28日(金)

【テーマ】

『私の好きな建設』(個人でも企業でも応募できます)

「100年遺したい構造物部門」と「自由部門」2部門

四季を通じて見つけた、道路・橋梁・ダム・河川などのスケール感ある完成した構造物、建築物の美しい姿など、「100年遺したい構造物」の写真と、働く姿や工事中の風景、重機など自由に撮影した写真の2部門を募集致します。※写真の撮影場所は長野県に限定いたします

【応募方法】

(それぞれ5点まで応募可。ただし入賞は1人1点とさせていただきます)

①長野県建設業協会青年部会公式アカウント

「@choken_young」をフォロー

②テーマに合う写真を用意していただく

(フォトタッチ化。ポスト時に撮影場所について記載してください)

③「#長建インスタ」と「#建設フォトコン構造物」か

「#建設フォトコン自由」の2個のタグをつけてポスト

【結果発表】

2023年7月に開かれる長野県建設業協会創立100周年・法人化70周年記念式典の場で発表し、授賞式を開きます。同日、公式Instagramでもご紹介いたします。

※結果発表は入賞された方には、その少し前にInstagramのDM(ダイレクトメッセージ)でご連絡致します

構造物部門
自由部門

グランプリ

5万円分QUOカード
それぞれ1名様

構造物部門
自由部門

優秀賞

精巧な重機ミニチュア
それぞれ4名様



【お問い合わせ】

本キャンペーン内容について、なにかわからないことなどございましたら、下記までご連絡ください。

miyabara@choken.or.jp

フォトジェニック第2回 建設 フォトコン 応募要領詳細

【応募期間】 2022年11月20日（日）～2023年4月28日（金）

【テーマ】 『私の好きな建設』（個人・企業どちらでも応募可能）

【応募部門】 2部門：撮影場所は長野県内に限定

＊ 「100年遺したい構造物部門」
四季を通じて見つけた 道路・橋梁・ダム・河川等のスケール感ある完成した構造物
新、旧を問わず完成している建築物等の写真

＊ 「自由部門」
建設業で働く姿・工事中の風景・仕事に従事する姿・重機等自由に撮影した写真

【応募方法】 それぞれ5点まで応募可。但し入賞は1人・1企業1点

＊ 長野県建設業協会青年部会公式アカウント

「@choken_young」をフォロー

＊ テーマに合う写真を用意していただく

フォトタッチ化。ポスト時に撮影場所について記載下さい

＊ 「#長建インスタ」（2部門どとらも）と

「#建設フォトコン構造物」か「#建設フォトコン自由」の2個をつけてポスト

【結果発表】 2023年7月に開かれる長野県建設業協会創立100周年

・法人化70周年記念式典で発表し、授賞式を開きます。

【賞品】 ＊グランプリ2部門各々1名：5万円QUOカード

＊優秀賞2部門各々4名：精巧な重機ミニチュア

女性目線での現場点検の開催について

(県建設部技術管理室主催)

令和4年8月18日(木)

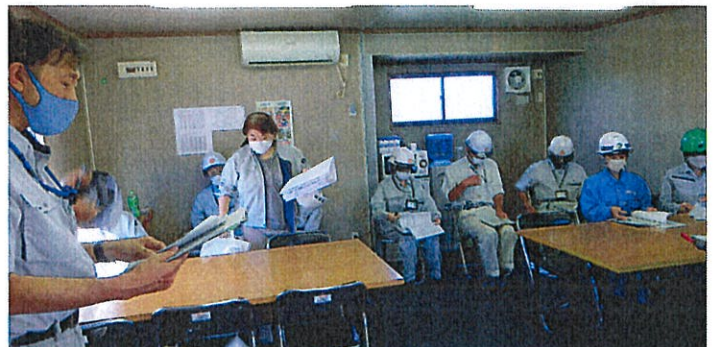
①令和3年度防災・安全交付金(道路)(加速化)工事

(国)254号上田市東内～西内(荻窪バイパス2工区) 施工：(株)創恒



②令和3年度防災・安全交付金(道路)(加速化)工事

(主) 佐久小諸線 佐久市 伴野～成瀬 (深町橋1工区) 施工：(株)竹花組



③令和3年度河川等災害関連(河川)工事

(一) 抜井川 南佐久郡佐久穂町海瀬 施工：畑八開発(株)



令和4年度女性部会現場見学会 in 須坂
(令和3年度 経営体育成基盤整備事業 綿内東町地区 清水工区 区画整理工事)

令和4年10月13日 (木)

施工：(株)鹿熊組



依田副会長挨拶



(株)鹿熊組 齋藤現場所長より施工状況説明



見学後の意見交換会 (須坂建設会館)



質疑応答



記念撮影

令和4年度 長野県職員女性の会 研修会

令和4年10月28日

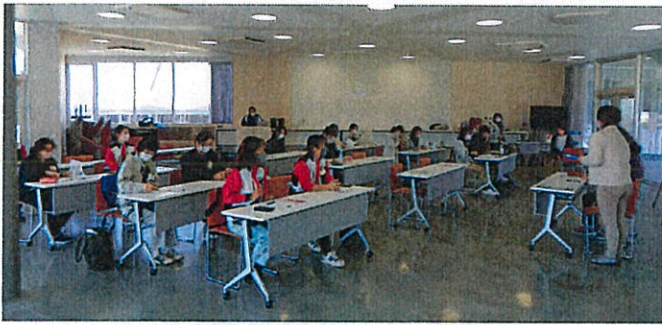
松本平広域公園 東管理棟



県女性の会 三吉副会長あいさつ
(佐久建設事務所建築課長)



小宮山女性部会長あいさつ



緑化技術講習会 (緑のリサイクル、緑花ボランティアについて学ぶ)



屋外研修 (植栽作業の体験)



集合写真



意見交換会「理想の職場環境と働き方」について

令和4年11月16日（水）

松筑建設会館



松本副会長あいさつ



講義①「女性が活躍する建設企業になるための労務管理セミナー」
講師：吉川直子氏（㈱建設経営サービス）



講義②「プルチックの感情の輪を活用した～感情(気持ち)活用講座～」
講師：堀 綾子氏（イーキュア㈱）



グループ討議の様子



「感情」をペットボトルに例えて
背負って重さを感じてみる